

石川県長期構想

(中間とりまとめ案)

－ 全体概要 －

【 目 次 】

1. 策定にあたって-----	1
2. 時代認識-----	2
3. 施策体系-----	3
4. 重点戦略の概要-----	4

平成 2 7 年 1 2 月
石 川 県

1. 策定にあたって

(1) 策定の趣旨

平成19年3月に改定した現行の長期構想に基づき、

- ① 県民の40年来の悲願であった北陸新幹線については、平成27年3月14日に金沢開業を迎えるとともに、敦賀延伸についても着工に至り、
- ② 道路・港湾・空港といった陸・海・空の交流基盤の整備や利活用に加え、
- ③ 本県の伝統文化の象徴ともいえる金沢城公園の復元整備や県庁跡地の整備、
- ④ 経済・雇用対策、防災・減災対策の強化、医療・福祉の充実、里山里海の利用保全など、

基本目標である「個性、交流、安心のふるさとづくり」の具現化に向けた取り組みを着実に進めてきました。

平成27年度末に現行の長期構想の目標年次を迎える中で、

- ① 「地球時代」「成熟時代」「地方創造時代」といった時代認識を、引き続き、大事にしながら、
- ② 基本目標や目指すべき将来像については、長期的な視野に立ち、県政の継続性・一貫性を重要視しつつ、

本県を取り巻く環境の変化を踏まえた新たな長期構想を策定します。

(2) 基本姿勢

北陸新幹線敦賀開業や2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催といった新たな対応が必要となる情勢変化を迎える一方で、基本的な課題には継続的な対応が求められ、人口減少など深刻な課題もいよいよ顕在化してきています。

また、社会資本の更新投資・維持管理費や社会保障費の増大等により、今後、厳しくなることが想定される財政事情の下で、引き続き、県民の負託に応えていく必要があります。

これらの状況を勘案し、施策の重点化に十分に意を用いつつ、諸課題を踏まえた今後10年間の明確なビジョンを描き、これを実現するための施策を着実に展開していきます。

(3) 計画期間

平成28年度（2016年度）を初年度とし、平成37年度（2025年度）を目標年次とする10年間の計画とします。

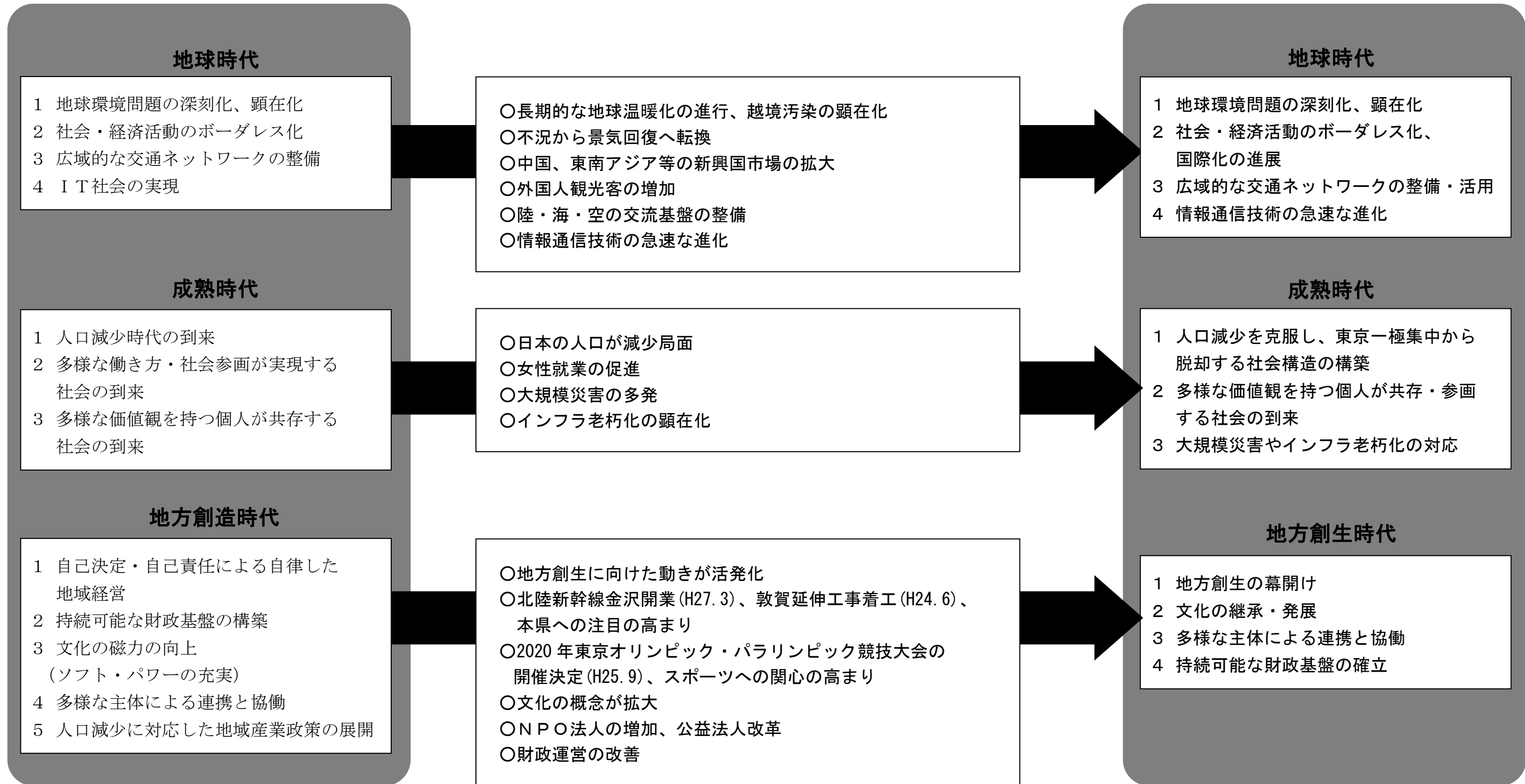
2. 時代認識

「地球時代」「成熟時代」「地方創造時代」といった従来からの時代認識（枠組み）を継続し、その基礎となる社会情勢について、状況変化を踏まえ、見直しました。

《 H18 当時の時代認識 》

《 9年間の主な状況変化 》

《 現在の時代認識 》



⇒ **新たな長期構想策定のポイント**

県外・国外を視野に入れたさらなる発信・展開 人口減少対策の重要性 安全・安心のさらなる希求

3. 施策体系

基本目標

目指すべき将来像

重点戦略

施策

個性、交流、安心のふるさとづくり

